

## 2014年(平成26年)度 第3回常務理事会議事録

日 時：平成26年6月14日(土) 13:00～16:30

場 所：東京医科歯科大学MDタワー18階 小会議室

出席者：河田光博(理事長)、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊士、渡辺雅彦(以上、常務理事)、阪上洋行、松崎利行(以上、常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

### I. 会議記録の確認

以下の議事録について確認された。

- (1) 2014年(平成26年)度第2回常務理事会(平成26年3月26日開催)記録(案)
- (2) 2014年(平成26年)度第2回理事会(平成26年3月26日開催)議事録(案)
- (3) 2014年(平成26年)度定時社員総会(平成26年3月28日開催)議事録(案)

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

##### (1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告された。

平成26年3月～5月分 入会：正会員20名、学生11名 退会：正会員22名、学生3名、名誉会員2名

平成26年5月31日現在 全会員2,369名

逝去会員 届出なし

新規就任教授5名(平成26年3月20日～6月12日)

##### (2) 学会宛文書類について

資料に基づき、58件の通知・依頼、21件の書籍、定期通信他 について報告があった。助成金等の通知については、学会ホームページに加えOHASYSによって会員に通知することとした。

##### (3) 平成26年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき、平成26年度支部学術集会開催予定について報告があった。

##### (4) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会について報告があった。倫理委員会に陪席の寺田理事より、サージカルトレーニング実施報告書の年度末における提出喚起についての要望の報告があり、今後の対応につき外科学会に打診することとした。また、厚生労働省事業選定校以外の大学におけるサージカルトレーニングの実施状況等について、解剖学会と外科学会の間で情報を交換すべきとの意見があり、常務理事会が対応を検討することとなった。同様に男女共同参画推進委員会から、奨励賞募集要項文面に男女共同参画からの配慮の要望があることが報告され、改訂を検討することとなった。

また、各種委員会報告につき、取扱注意の旨付記の上、各理事宛周知をはかることとした。

##### (5) FA作業環境測定アンケートについて

資料に基づき、6月5日付で全国医科・歯科系大学の系統解剖学実習担当者にFA作業環境測定に関するお願いの文書を送ったことが報告された。今後も継続して調査を実施することが確認された。

##### (6) 日本外科学会「ガイドライン検討委員会」委員推薦について

資料に基づき、解剖学会から4名の推薦をおこなったことが報告された。

##### (7) 2018(平成30)年度総会・全国学術集会担当校について

2018(平成30)年度総会・全国学術集会開催希望の募集を開始したことが報告された。

##### (8) その他

特になし

#### 2. 編集報告(藤本編集担当理事)

##### (1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌及びA S I 刊行状況及び刊行予定について報告があった。

##### (2) A S I 購読状況及びロイヤリティについて

資料に基づき、A S I 購読状況及びロイヤリティについて報告があった。ロイヤリティについては2012年の240,602円に比べ、2013年は359,461円であったことが説明された。

##### (3) 佐々木広告社との解剖学雑誌広告集稿契約について

資料に基づき、平成26年4月1日付で佐々木広告社との間で解剖学雑誌広告の収集に関する委託契約が結ばれたことと、契約内容について報告された。

##### (4) 電子著作物の複製等に関する権利委託について

資料に基づき、一般社団法人 学術著作権協会からの電子著作物の複製等に関する権利委託についての報告があった。事務局から追加の説明があり、解剖学会が著作権を有するものについては委託することとした。

##### (5) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（仲嶋企画・渉外担当理事）

- (1) 平成26年度奨励賞・解剖組織技能士功労賞候補者の募集について  
資料に基づき、平成26年度奨励賞・解剖組織技能士功労賞候補者の募集について説明された。男女共同企画推進委員会からの要望である奨励賞に女性の応募を促す文言は今年度の募集要項には入っていないが、締切1か月前の通知時に加えることとした。
- (2) 平成26年度一級技能士資格試験について  
資料に基づき、平成26年度一級技能士資格試験について説明された。26年度の試験は鶴見大学・歯学部で実施するが、27年度以降は原則として申請者の所属する大学で実施することが確認された。
- (3) 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について  
資料に基づき、第120回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について報告された。河田会頭からは、順調に準備が進んでいることが説明された。
- (4) 日本脳科学関連学会連合報告  
資料に基づき、解剖学会からの日本脳科学関連学会連合代表候補者の推薦について説明があった。
- (5) 生物科学学会連合報告  
資料に基づき、竹田扇氏（山梨大学・医）を代表とする高等学校教科書問題ワーキンググループが4月18日付で生物科学学会連合に提出した報告書について説明があった。
- (6) 日本医学会報告  
資料に基づいて、日本医学会に関する報告があった。26年度会費として解剖学会から、5万円+50円×1910名=145,500円を5月20日に納入したことが報告された。
- (7) その他  
特になし。

4. 会計報告（寺田会計担当理事）

- (1) 平成26年度中間決算書について  
資料に基づき、26年度5月次会計報告がおこなわれた。本会計は、収入、支出共ほぼ例年通りであることが説明された。また特別会計としては、生理学会との合同大会の準備のため、プログラム委員長の生理学会大会参加交通費・宿泊費の支出があったことが報告された。
- (2) その他  
特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について（庶務）  
新入会員31名（正会員20名、学生11名）について審議の結果承認された。
2. 教授就任による代議員について（庶務）  
教授就任による代議員の申請2名について、審議の結果承認された。
3. 肉眼解剖学に関するアンケート調査結果報告書について（庶務）  
教育・若手育成委員会が作成した肉眼解剖学教育に関するアンケート結果報告書について、公表内容の最終確認を教育・若手育成委員会と行った後に公表することとなった。
4. 名簿作成ワーキンググループについて（庶務）  
資料に基づき、名簿作成ワーキンググループ委員構成案について説明され、今後のスケジュールが確認された。今後、事務局で前回の名簿発行時の問題点等を整理して作業を進め、2015年末の発行を目指すこととした。また、河田理事長からは今後は3年毎を目標に継続して作成していきたいとの見解が出された。
5. 学会ロゴマーク制定について（庶務）  
資料に基づき、学会ロゴマーク募集に対して17件の応募があったことが報告された。非会員からの応募2件を除く15件を理事会に諮り、OHASYSを通じた会員投票を9月におこない、12月の理事会で審議し決定することが確認された。
6. 解剖体を用いた研究倫理ガイドラインの検討について（庶務）  
資料に基づき、解剖体を用いた研究倫理ガイドライン策定の必要性について審議し、その検討を進めることが承認された。
7. 解剖学の教育認定制度の検討について（庶務）  
資料に基づき、教育・若手育成委員長より委員会議事録のとおり解剖学の教育認定制度の検討を開始してよいかとの問い合わせが理事長宛に来たことが報告された。対応について協議した結果、その影響や問題点などを含め、今後理事会において十分時間をかけて検討した上で方向性を決めることが確認された。

8. COIへの対応について（企画渉外）

解剖学会におけるCOI委員会の設置に向けて、資料に基づき、他学会の例の一つとして日本神経化学会のCOI管理状況が紹介された。審議の結果、神経化学会の指針を参考として、解剖学会では倫理委員会がCOI委員会を兼ねる方向で指針案を作成することとなった。12月の理事会に提案する予定とした。

9. 技能士の名称について（企画渉外）

資料に基づき、技術士から名称変更した技能士について、職業能力開発促進法（第50条）に抵触する恐れがあることが新たに判明したことが報告された。審議の結果、新名称に問題がないかを網羅的に調査することは現実的に困難なため、今後専門家を含めて各方面に相談しながら慎重に対応を検討していくことになった。

10. 基本財産の運用について（会計）

資料に基づき、基本財産の運用について銀行より新たな提案があったことが報告された。審議の結果、会計担当理事と事務局間で検討を継続することとした。

11. 賞・研究費の学会推薦について（庶務）

資料に基づき、渡辺庶務担当理事より「各種表彰・研究助成に関して学会推薦をおこなう場合は、学会ホームページ等に掲示して会員に周知して候補者の募集を行う。応募者の中から、賞・研究費推薦候補者選考委員会が候補者を選考し、理事会の承認を経て決定する」との申し合わせが提案され、承認された。審議の結果、この方向でおこなうこととなった。これに伴い、「一般社団法人日本解剖学会奨励賞規約」の見直しも行うことが確認された。

12. その他

次回の常務理事会は9月20日（土）14時から東京医科歯科大学で開かれることが確認された。